

## 財務状況

### ・ 概要

世界的なエネルギー価格の高騰やウクライナ情勢、円安による輸入コストの増加による物価上昇が続く中、本学園においても光熱水費や給食の食材費の負担が増大する一方、2022年度においても、主たる収入である学生生徒等納付金が減少し、厳しい収支状況となり、経常収支差額比率は本学園の中期計画の目標値である5%を下回る4.2%となりました。

支出面については、大成女子高等学校において省エネ効果の高いエアコンへの更新や既存照明器具をLED化したほか、茨城女子短期大学においては学生寮のトイレを洋式化するなど施設整備を推進し教育環境の整備に努めました。

また、大成学園幼稚園の敷地内に新園舎を増築し保育ニーズの高い乳幼児の定員増を図るとともに、既存園舎内の保健室を改修し体調不良児の受入体制の整備、外壁塗装など園舎の長寿命化のための修繕や通園バスの安全確保対策を行いました。

学生、生徒への経済的支援としては、茨城女子短期大学においては、2020年度から開始された国による高等教育修学支援制度の対象機関としてできる限り多くの学生に本制度を活用してもらうため、より一層の周知に努め授業料等の減免や給付型奨学金の支給を継続的に行いました。

大成女子高等学校においても引き続き授業料の減免など、経済的に不安を抱えた生徒が学習、授業に専念できる環境を整えてきました。

### ・ 資金収支計算書

資金収支計算書は1年間の活動に対応する全ての収入と支出の内容を明らかにして支払資金の顛末を表します。この計算書には当該会計年度に関係ない取引が入っていますので、調整勘定で資金の収支が修正されます。

主な収入項目である学生生徒等納付金収入は6億806万円で、前年度比187万円の減少となりました。

一方で、補助金収入は10億4,919万円となり、前年度比8,855万円の増加となりました。

また、支出項目の人件費支出は10億603万円で、前年度比2,055

万円の増加となりました。

教育研究経費支出は2億5,888万円、前年度比2,922万円の増加となりました。

管理経費支出は1億7,746万円、前年度比1,337万円の増加となりました。

施設関係支出は1億4,175万円、前年度比1億1,532万円の増加となりました。

翌年度繰越支払資金は、前年度より1,009万円増の18億8,080万円となりました。

- ・ 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該会計年度の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡の状態を明らかにするためのものです。

2022年度の事業活動収入は17億4,450万円、事業活動支出は16億946万円で基本金組入後の当年度収支差額は2,716万円となっています。

- ・ 貸借対照表

貸借対照表は年度末の財政状態を表します。

また、資金収支計算書や事業活動収支計算書は単年度の計算書ですが、貸借対照表は法人化以来の累積の残高です。

2022年度の資産総額は69億4,497万円、前年度末より1億2,499万円の増加となりました。

資産から負債を差し引いた、純資産は66億3,804万円、前年度末より1億3,503万円の増加となりました。